

【分野】 基礎分野 科学的思考の基礎 人間と生活

【科目】 総合基礎 I (異文化コミュニケーション)

## 【基本情報】

配当年次	1 学年	担当教員	阿曾村 智子	
単位数	2 単位		実務経験	
		授業形態・回数	講義	15回

## 【授業情報】

授業概要	英語の基礎を復習しながら東洋医療サービスの現場で役立つ英単語や英語の表現を覚えることを目指している。 読解教材としては、『東洋医療を英語で学ぶ』(Medical English for Oriental Medicine) や鍼灸に関する英語記事等を使用。
授業の一般目標 (GIO)	具体的には、(1) 実践的なテーマにそった日常的な会話練習と(2) 専門的なテーマに沿った内容で、平易に書かれた英文の読解を通じての総合的な英語学習を行う。(3) 文法としては、TOEIC475 - 500レベルのための基礎項目を確認。(4) 息抜きに異文化コミュニケーションの様々な問題点を話題として取り上げることによって、英語の知識にとどまらず、将来、国際交流・国際協力の現場でも役立つ、ものの見方やコミュニケーション能力も身に付けるようにしたい。

## 【担当教員から】

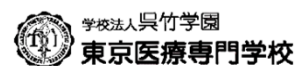
教科書	高木久代他『東洋医療を英語で学ぶ』(Medical English for Oriental Medicine)、医歯薬出版株式会社、2013年。その他に独自に作成した教材も用いるが、いずれのテキストについても必要に応じて教室でコピーを配布する。
参考書	阿曾村智子『国際交流のための現代プロトコール』、東信堂、2017年
成績評価基準	授業の理解度 基本的知識の修得 知識の習熟度と修得した知識の応用 最後に試験にて評価を行う。
成績評価方法	授業成績の評価は、試験の成績、履修状況等を総合的に勘案して行う。但し、授業時間数における出席時間数の割合が別に定める水準に達しない者は、当該科目について評価を受けることができない。 2 成績評価の基準は次のとおりとし、A、B、Cを合格、Dを不合格とする。 (1) A : 100~90点 (2) B : 89~70点 (3) C : 69~60点 (4) D : 60点未満 成績評価の基準と算定方法
授業時間外必要な学修	教科書、参考書、プリント等を基に予習・復習を行うこと
履修にあたっての留意点	授業での参加態度を重視する。 会話練習については必ずしもシラバスにあるテーマに限定せず、適宜柔軟に対応する。

【授業計画】2021年度 総合基礎 I (異文化コミュニケーション) 鍼灸マッサージ科・鍼灸科

学期	回数	講義内容	行動目標 (SBOs)	講義形態
	1	・オリエンテーション ・英会話 (挨拶と自己紹介)	実践的なテーマにそった日常的な会話ができる。	講義
	2	・英会話 (クラスメートの紹介) ・総合的な英語学習 (経絡・経穴)		講義
	3	・英会話 (ペットの紹介) ・総合的な英語学習 (鍼灸治療)	実践的なテーマにそった日常的な会話ができる。 鍼灸治療の場面で必要な、基本的な医学用語を話すことができる。	講義
	4	・英会話 (趣味と好み) ・総合的な英語学習 (日本の鍼灸の歴史)		講義
	5	・英会話 (スポーツのいろいろ) ・総合的な英語学習 (治療で用いる鍼)		講義
	6	・英会話 (ホテルの受付にて) ・総合的な英語学習 (肩こりの針治療)		講義
	7	・英会話 (基礎文法事項のまとめ) ・中間確認テスト		異文化コミュニケーションを実現できる会話ができる。
	8	・中間確認テストの解説 ・英会話 (日本の武道)	講義	
	9	・英会話 (痛み表現のいろいろ) ・総合的な英語学習 (痛みに対する治療)	鍼灸師として、治療に役立たせるような、より深い会話ができる。	講義
	10	・英会話 (健康な生活と養生) ・総合的な英語学習 (スポーツ鍼灸)		講義
	11	・英会話 (食べ物とエネルギー) ・総合的な英語学習 (美容鍼灸)		講義
	12	・英会話 (癒しや慰めの表現) ・総合的な英語学習 (薬膳)		講義
	13	・英会話 (基礎文法事項の復習) ・総合的な英語学習 (海外における鍼灸治療)		講義
	14	・試験		試験
	15	・試験の解説 ・まとめ	講義	

2021年度 I 部鍼灸マッサージ科・I 部鍼灸科・夜間鍼灸科

【分野】 基礎分野 科学的思考の基礎 人間と生活



学校法人 只竹学園  
東京医療専門学校

【科目】 総合基礎 I (中国語)

【基本情報】				
配当年次	1 学年	担当教員	井上 良雄	
単位数	1 単位		実務経験	
		授業形態・回数	講義	8回

【授業情報】	
授業概要	<p>日常会話の練習をします。初心者が対象ですから基礎知識はいりません。あまり文法的なことにはふれないで、授業中はどんどん声を出して体で覚えてもらいます。会話の学習を通して、中国文化や中国人の生活習慣に親しみ、国際的な視野を広げてほしいと思います。</p> <p>「聞く」授業ではなく、「参加する」授業です。</p>
授業の一般目標 (GIO)	中国語で自己紹介が出来ることを目標とします。

【担当教員から】	
教科書	井上良雄著 『中国語のチカラ』 (東京富士大学) から抜粋
参考書	
成績評価基準	<p>授業の理解度            基本的知識の修得            知識の習熟度と修得した知識の応用            最後に試験にて評価を行う。            試験60% (中国語による自己紹介実技テスト、筆記テスト)            平常点40% (参加意欲等)</p>
成績評価方法	<p>学業成績の評価は、試験の成績、履修状況等を総合的に勘案して行う。但し、授業時間数における出席時間数の割合が別に定める水準に達しない者は、当該科目について評価を受けることができない。</p> <p>2 成績評価の基準は次のとおりとし、A、B、Cを合格、Dを不合格とする。            (1) A : 100~90点 (2) B : 89~70点 (3) C : 69~60点 (4) D : 60点未満</p>
授業時間外必要な学修	
履修にあたっての留意点	

【授業計画】 2021年度 総合基礎 I (中国語) I 部鍼灸マッサージ科・I 部鍼灸科・夜間鍼灸科				
学期	回	講義内容	行動目標 (SBOs)	講義形態
	1	中国語について (共通語、文字、発音)	中国語の概要について基礎的な説明ができる。	講義
	2	挨拶、名前の言い方、中国語の歌 (鉄腕アトム)	日常的な中国語の基本的な単語を理解し、話すことができる。	講義



## 【授業情報】

授業概要	対人関係を円滑にするコミュニケーション能力を習得することを目標とします。言語運用能力とプレゼンテーション力を高め、人間関係の多様性を学ぶことにより、社会人・医療人として求められる臨機応変なコミュニケーション能力を身につける。
授業の一般目標 (GIO)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・多様な人間関係の理解とコミュニケーション能力を高める</li> <li>・言語運用能力とプレゼンテーション能力を高める</li> </ul>

## 【担当教員から】

教科書	プリント配布
参考書	小玉正博・松井豊編 中村真通、他著『生涯発達の中のカウンセリングⅣ』（サイエンス社、2014）
成績評価基準	授業の理解度 基本的知識の修得 知識の習熟度と修得した知識の応用 授業毎課題（90%）・期末課題（10%）
成績評価方法	学業成績の評価は、試験の成績、履修状況等を総合的に勘案して行う。但し、授業時間数における出席時間数の割合が別に定める水準に達しない者は、当該科目について評価を受けることができない。  2 成績評価の基準は次のとおりとし、A、B、Cを合格、Dを不合格とする。 (1) A：100～90点 (2) B：89～70点 (3) C：69～60点 (4) D：60点未満 成績評価の基準と算定方法
授業時間外必要な学修	講義で配布される資料を用いて演習・復習を行うこと。
履修にあたっての留意点	授業時に説明します。

## 【授業計画】 2021年度 総合基礎Ⅰ（コミュニケーション学）Ⅰ部鍼灸マッサージ科・Ⅰ部鍼灸科・夜間鍼灸科

学期	回数	講義内容	行動目標 (SBOs)	講義形態
	1	自己紹介と抑揚		講義・演習
	2	プレゼンテーションと滑舌訓練		講義・演習
	3	挨拶・マナー・話し方と意味		講義・演習
	4	アイコンタクトとボディランゲージ		講義・演習
	5	ストレスコーピングとインタビュー		講義・演習
	6	あがりと自律訓練法		講義・演習
	7	敬語・効果的なスピーチ		講義・演習



授業の一般目標 (GIO)	これから、さまざまな講義を受けるための読解能力、将来、仕事に就いたときの一般教養など、さまざまな観点から日本語について学ぶ。
------------------	--

【担当教員から】	
教科書	
参考書	『パスポート』（桐原書店） 『常用漢字アルファ』（桐原書店） ただし、購入の必要なし。すべてプリントを配付する
成績評価基準	授業の理解度 基本的知識の修得 知識の習熟度と修得した知識の応用 最後に試験にて評価を行う。  提出物と授業態度50%、期末試験50%
成績評価方法	学業成績の評価は、漢字の理解、作文の理解などを中心に試験の成績、履修状況等を総合的に勘案して行う。  2 成績評価の基準は次のとおりとし、A、B、Cを合格、Dを不合格とする。 (1) A：100～90点 (2) B：89～70点 (3) C：69～60点 (4) D：60点未満
授業時間外必要な学修	配付したプリントの復習
履修にあたっての留意点	将来必要な日本語の知識を習得する気持ちが必要

【授業計画】2021年度 総合基礎 I (実践国語) I 部鍼灸マッサージ科・I 部鍼灸科・夜間鍼灸科				
学期	回数	講義内容	行動目標 (SBOs)	講義形態
	1	・漢字の学習	難読漢字を読み、自分の知識を広める。最後に漢字検定8級のテストを行う。	講義
	2	・漢字の学習	難読漢字を読み、自分の知識を広める。最後に漢字検定7級のテストを行う。	講義
	3	・作文の学習	文章の構成を知り、誤りのある文章を添削しながら、書くことの楽しさを知る。最後に漢字検定6級のテストを行う。	講義
	4	・作文の学習	実際に作文を書いてみる。まず課題文のある作文を書く。最後に漢字検定5級のテストを行う。	講義
	5	・作文の学習	実際に作文を書いてみる。履歴書を書いてみて自分自身のことを知る。最後に漢字検定4級のテストを行う。	講義





【担当教員から】

教科書	PowerPoint使用
参考書	日本スポーツ協会公認アスレティックトレーナーテキスト各巻
成績評価基準	授業の理解度 基本的知識の修得 知識の習熟度と修得した知識の応用 最後に試験にて評価を行う。
成績評価方法	学業成績の評価は、試験の成績、履修状況等を総合的に勘案して行う。但し、授業時間数における出席時間数の割合が別に定める水準に達しない者は、当該科目について評価を受けることができない。 2 成績評価の基準は次のとおりとし、A、B、Cを合格、Dを不合格とする。 (1) A：100～90点 (2) B：89～70点 (3) C：69～60点 (4) D：60点未満 成績評価の基準と算定方法
授業時間外に必要な学修	授業後に復習を行うこと
履修にあたっての留意点	

【授業計画】2021年度 総合基礎Ⅰ（健康科学）Ⅰ部鍼灸マッサージ科・Ⅰ部鍼灸科・夜間鍼灸科

学期	回数	講義内容	行動目標（SBOs）	講義形態
	1	・予防医学と未病	予防医学の考え方を理解する	講義
	2	・運動と健康	運動が健康増進に貢献することを理解する	講義
	3	・スポーツコンディショニング概論	コンディショニングの考え方を理解する	講義
	4	・スポーツコンディショニング各論	具体的なコンディショニングの方法を理解する	講義
	5	・スポーツ傷害とアスレティックリハビリテーション①	アスレティックリハビリテーションの考え方を理解する	講義
	6	・スポーツ傷害とアスレティックリハビリテーション②	具体的なアスレティックリハビリテーション実施の流れを理解する	講義
	7	・救急法・応急処置	救急法や応急処置の重要性と実施方法を理解し、実践できるようにする	講義
	8	・まとめ・試験	まとめ	試験



成績評価基準	授業の理解度 基本的知識の修得 知識の習熟度と修得した知識の応用 最後に試験にて評価を行う。
成績評価方法	学業成績の評価は、試験の成績、履修状況等を総合的に勘案して行う。但し、授業時間数における出席時間数の割合が別に定める水準に達しない者は、当該科目について評価を受けることができない。  2 成績評価の基準は次のとおりとし、A、B、Cを合格、Dを不合格とする。 (1) A : 100~90点 (2) B : 89~70点 (3) C : 69~60点 (4) D : 60点未満 成績評価の基準と算定方法
授業時間外必要な学修	プリント等を基に予習・復習を行うこと
履修にあたっての留意点	・授業中は携帯電話の使用禁止

### 【授業計画】2021年度 I 部鍼灸マッサージ科・I 部鍼灸科・夜間鍼灸科 総合基礎 I (人体の科学)

学期	回数	講義内容	行動目標 (SBOs)	講義形態
	1	生物としてのヒト	多様性、共通性をもつ生物としてのヒトの特徴を理解する。	講義
	2	物質の基礎	原子・分子の基本構造やイオン、水、pH などについて説明できる。	講義
	3	生体を構成する物質	生体を構成する基本的な物質が説明できる。	講義
	4	細胞の構造、細胞膜の透過のしくみ	生命現象の基本単位である細胞について、構造や機能が説明できる。	講義
	5	生体内の代謝の基本	代謝とは何か説明できる。	講義
	6	代謝	生体における物質循環、エネルギーの流れが説明できる。	講義
	7	血液循環と血液	血液と血液循環が説明できる。	講義
	8	遺伝と遺伝子	遺伝現象を司る遺伝子の正体、機能について説明できる。	講義
	9	タンパク質の合成	タンパク質の合成のしくみが説明できる。	講義
	10	内分泌系による調節	自律神経と内分泌系による体内環境の調節について説明できる。	講義
	11	自律神経による調節		講義
	12	生体防御と免疫	生体防御としての免疫の機構が説明できる。	講義
	13	自然免疫と獲得免疫		講義
	14	生物の進化と適応	現代人の抱える医療の課題と生物学的・進化的視点とを関連付けて考えることができる。	講義
	15	試験		試験



科目名	<b>こころの科学 (T)</b>		
サブタイトル	よりよいコミュニケーションのために		
対象学科	人間科学部 心身健康科学科		
担当教員	吉田昌宏・朴峠周子		
オフィスアワー	UHAS@Myキャンパスを通じて質問を受け付ける。		
配当年次	1-4	選択	単位数 テキスト履修：2単位
授業形態	講義		
授業方法	印刷授業		
資格等関連科目	【5910T】 あはき師・柔道整復師養成カリキュラム		
科目コード	A141T/5910T(科目等履修生)		
科目区分	統合 I (こころとからだのつながり)		
テキストの変更・改訂	2020年度より変更・改訂：あり		
使用教材	教科書	『史上最強カラー図解 プロが教える心理学のすべてがわかる本』、大井晴策（監修）、ナツメ社、2012年	
	参考書等	『人間科学概論 第3版』、佐藤昭夫・佐藤優子（著）、人間総合科学大学、2010年 『かがやく生き方 心身健康科学 第3版』、久住真理・久住武（監修）、人間総合科学大学、2020年	
授業概要 (目的・ねらい)	心理学とは、人間のこころの機能や行動を科学的に解明する学問であり、「こころ・からだ・文化」の側面から人間を総合的に理解するために欠くことのできない領域です。本科目では、人間の社会生活との接点から、心理学についての理解を深め、人々が心身ともに健康で豊かに暮らすことができる社会の構築に心理学を応用する方法について学びます。さらに、「自立と共生」「創造性と人間性」を基礎に、日常および医療現場で役立つコミュニケーション力を養います。		
キーワード	心理学／心身健康科学／人間関係／個人／社会／コミュニケーション／脳と心		
テキストの内容 及びアドバイス	<ol style="list-style-type: none"> <li>こころの歴史 心理学の歴史と今後の発展について学ぶ</li> <li>脳と知覚のメカニズム 脳の構造と心のはたらき（視覚、聴覚、触覚、味覚、嗅覚）について学ぶ</li> <li>学習と思考のメカニズム より高度で複雑な心のはたらき（学習、記憶、思考、知能）について学ぶ</li> <li>心理学における性格 性格の定義や性格を知るためのアプローチおよび他者とのコミュニケーションについて学ぶ</li> <li>対人関係の心理学 社会心理学の立場から、個人レベルから社会レベルにおける人間の行動および他者とのコミュニケーションについて学ぶ</li> <li>人間の発達 発達心理学の立場から、発達段階に応じた特徴と心のはたらきについて学ぶ</li> <li>心の健康と心理療法 心の健康に関する諸側面と様々な心理療法とともに他者とのコミュニケーションのあり方について学ぶ</li> </ol>		
一般目標 (GIO)	心理学にもとづく客観的な視点で自分を捉えるとともに、他者との関係構築について理解を深め、日常生活や医療現場におけるコミュニケーションの図り方を考えることができる。		
行動目標・ 到達目標 (SBOs)	<ol style="list-style-type: none"> <li>心理学を科学の一分野として説明することができる</li> <li>よりよいコミュニケーションについて、心理学に基づいて説明することができる</li> <li>よりよいコミュニケーションの基盤として、こころ・からだ・文化の側面から人間を総合的に理解することができる</li> <li>自分および他者とのよりよいコミュニケーションのために、心理学を応用する方法を説明することができる</li> <li>人々が心身ともに健康で豊かに暮らせる社会の構築に心理学を応用する方法を説明することができる</li> </ol>		
卒業認定・ 学位授与の方針と 本科目の関連科目	ディプロマポリシーに関連して本科目では次のことを行う。 <ol style="list-style-type: none"> <li>主に人間のこころについて学際的・総合的な視点から探究を行う。</li> <li>有効なコミュニケーションに必要な人間のこころとからだに関する知識を得るとともに、テキスト学修を通して自己教育力を高める。</li> <li>心理学とコミュニケーションに関する知識を深めることを通して、人間への興味、創造力・洞察力、心身ともに健康で豊かに暮らすための意欲と能力を高める。</li> </ol>		
評価方法・基準	選択式の科目修了試験において60点以上を合格とする。		
課題に対するフィード バックの方法	テキスト課題合格時に「解答・解説」を表示してフィードバックする。		
連絡事項	本科目を「心理学」としてのみ捉えるのではなく、よりよい自己理解および日常生活の中で営まれる自分と他者の関係理解につなげ、テキスト履修を成長のきっかけにしてください。		

科目名	<b>生命倫理学(N)</b>			
サブタイトル	看護教員養成プログラム用に一時的に作成 公開しないこと！！			
対象学科	人間科学部 心身健康科学科			
担当教員	吉田浩子・青木清			
オフィスアワー	UHAS@Myキャンパスから質問や面接日時の調整ができます。まずは「質問」のタブから担当教員にメールでご連絡ください。			
配当年次	1-4	選択	単位数	インターネット授業履修：1単位
授業形態	講義			
授業方法	メディア授業 印刷授業			
資格等関連科目	【A402N】看護教員養成プログラム			
科目コード	A402N			
科目区分	統合Ⅳ（人間の未来学）			
テキストの変更・改訂	2020年度からの変更・改訂：なし			
使用教材	教科書	青木清『生命倫理学』（本学オリジナルテキスト）、「生命倫理学 別冊」		
	参考書等	「いのちをつくっていいですか」島園進 NHK出版 2016		
授業概要 （目的・ねらい）	現在、著しい生命科学の進歩に伴って開発された技術が医学薬学医療に応用される一方、それら科学技術と医療技術の進歩は私たち人間の生存に対してさまざまな問題を提起している。これらの問題に対して、生命倫理（バイオエシックス）の果たす役割は大きい。その根本にある、生命科学の時代の基本的な考え方は、人間の尊厳や生命の尊厳と、人間の生存を守ることにある。生命科学が21世紀に大きく発展して、健全な発展により人間の生存を守ることで大きな力となるかどうかは、人々が生命倫理の知識を教養として持っているかどうかにかかっているだろう。特に、近年、脳死臓器移植、ヒト・ゲノム研究、遺伝子治療、再生医学医療などについての議論がなされている。その生命倫理的問題を具体的に考察し、環境倫理といった分野までを学ぶ。			
キーワード	バイオエシックス / DNA / インフォームド・コンセント / 倫理的基準 / ヒトクローン / iPS細胞 / ES細胞 / バイオテクノロジー			
テキストの内容 及びアドバイス	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 人間の生存とバイオエシックス</li> <li>2. 生命倫理に関する諸問題</li> <li>3. ヒト・ゲノム研究</li> <li>4. 脳死と臓器移植</li> <li>5. 医療における論理—患者の自己決定権とは—</li> <li>6. 出生に関する倫理</li> <li>7. 遺伝子治療</li> <li>8. 安楽死と尊厳死</li> <li>9. 人間の生存を考える</li> <li>10. 環境倫理</li> </ol>			
一般目標 (GIO)	生命倫理の基礎を理解する。			
行動目標・ 到達目標 (SBOs)	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 生命倫理の課題を知る</li> <li>2. 先端医学医療を理解する</li> <li>3. 先端的生物医学を理解する</li> <li>4. 生命科学の基礎を理解する</li> <li>5. 技術の進歩と自然について（人間と他の生物との共生）知る</li> <li>6. 生命倫理と医療倫理の関連を知る</li> <li>7. 生殖補助医療について理解する</li> <li>8. 終末期医療について理解する</li> </ol>			
卒業認定・ 学位授与の方針と 本科目の関連科目	生命倫理は現代社会をより良く生きるための基礎教養のひとつであり、ディプロマポリシーにある「人間と社会の諸側面について学際的・総合的で幅広い知識」「現代社会と今を生きる人間に深い関心を持ち、新しい展望と視座に立って、創造力・洞察力を持って、心身ともに健康で豊かに暮らすことができる社会の構築という現代の科学的・社会的要請に対して応えようとする意欲と能力」の構築に寄与するものである。			
評価方法・基準	【スクーリング履修（インターネット授業）】 インターネット授業の最終レポートで60点以上を合格とする。			
課題に対するフィード バックの方法	提出された課題について、必要時、個別にフィードバックを行う			
スクーリング履修 における授業準備 （予習・復習）の具体的な 内容及びそれに必要な時間	<p>【予習】 テキストの資料編付録1と用語編付録2を概観しておくこと。生命倫理は人間の生存と弱者を守るという思想に基づいていることを理解すること。</p> <p>【復習】 生命科学の発展は急速で、最新の事象は常に変化しています。「参考書」だけでなく、興味のある事象についてインターネットで調べてみましょう。</p>			
スクーリング履修 での講義内容	授業計画			
	時限	学習内容	キーワード（重要語句）	担当教員
	1-3 時限	21世紀の生命科学の全体像を理解し、その進歩に伴う生命倫理の諸問題を学修する。	バイオエシックス、 DNA	
	4-6 時限	先端医療技術と生命倫理の様々な問題を解説し、患者に対するインフォームド・コンセントや、患者の自己決定権について考える。	ES細胞、iPS細胞	
7-8 時限	人間の生存の問題に触れ、生命科学が人類の未来に果たす役割とその貢献について考え、学ぶ。	バイオテクノロジー、 ヒトゲノム		
方略	テキストとメディアを用いて学習を進める			
連絡事項	<p>テキストには、生命倫理学を学修するにあたっての基礎となる資料として「ヒポクラテスの誓い」「ニュールンベルク綱領」「ヘルシンキ宣言—患者の権利章典—」「ジュネーブ宣言」「リスボン宣言」「国際看護師倫理綱領」が付されています。</p> <p>最先端の事項は変化が急速でテキストで扱うことが難しいため、興味のある方はご自身で調べ、質問等があれば直接吉田までメールでお問い合わせください。ただし、個人的あるいは特定のケースのご相談に応じることはできないので、あらかじめご了承ください。</p>			

科目名	<b>プレゼンテーション論(T)</b>		
対象学科	人間科学部 心身健康科学科		
担当教員	鍵谷方子・矢島孔明・藤原宏子		
オフィスアワー	UHAS@Myキャンパスから質問や面接日時の調整ができます。		
配当年次	1-4	選択	単位数 テキスト履修：1単位
授業形態	講義		
授業方法	印刷授業		
資格等関連科目	【A322T】看護教員養成プログラム【5921T】あはき師・柔道整復師養成カリキュラム		
科目コード	A322T/5921T(科目等履修生)		
科目区分	統合Ⅲ（文化・社会の継承）		
テキストの変更・改訂	2020年度からの変更・改訂： なし		
使用教材	教科書	久住真理監修『プレゼンテーション論 ～できる！はじめての研究発表～』人間総合科学大学	
	参考書等	酒井聡樹著『これから学会発表する若者のために』共立出版 酒井聡樹著『これから論文を書く若者のために』共立出版	
授業概要 (目的・ねらい)	人類が築いてきた高度な文明の基礎の1つに言語をはじめとする様々な情報伝達手段の発展がある。プレゼンテーションは、そうした情報伝達の1つの形態である。本科目は、これから学会発表をする学生のための入門講座としてだけでなく、職業人、社会人にとってのプレゼンテーション全般に役立つ基本的事項を学ぶことを目的とする。具体的には、学会発表の心構えや基本事項、発表内容の精査、伝わりやすく見やすいポスターやスライドの作成、発表本番での論理展開、質疑応答への対応について学び、レポート報告、学会発表に関するプレゼンテーションの基本事項を実践できるようにする。		
キーワード	プレゼンテーション／研究発表／口頭発表／スライド／ポスター発表／コミュニケーション		
テキストの内容 及びアドバイス	<p>【テキストの内容】</p> <p>Step1 はじめての研究発表 研究発表の場を知り、その場に参加する心得を学ぶ。その前提として、研究に取り組むうえで備えておきたい知識、考え方、姿勢を理解する。⇒目標 1、4、5</p> <p>Step2 発表内容の準備 研究内容について発表内容を精査し、論旨を整え表現する際に重要な考え方や基本事項を学ぶ。⇒目標 2、4</p> <p>Step3 スライドを用いた口頭発表の技術 聴衆に発表内容を伝えるためのツールとしてのスライド作成の考え方を理解し、相手に伝わるスライドを用いた口頭発表技術のポイントを把握する。⇒目標 2、3、4</p> <p>Step4 ポスター発表の技術 読みやすく理解しやすいポスターの作り方、ポスター発表の仕方など、実際にポスター発表を行う際の心構え、技術、留意点について学ぶ。⇒目標 3、4、5</p> <p>Step5 内容をより良く伝えるために より良く聴衆に伝えるためには、伝える内容の整理が必要となる。その整理の仕方について、実践のための考え方を学ぶ。⇒目標 2</p> <p>【アドバイス】</p> <p>テキストでは、学会発表を題材にプレゼンテーションの基礎的事項が具体例とともに説明されています。具体例から、実際にご自身が発表をする場合にどのようにプレゼンテーションできるか、学んだことをどのように適用・応用できるか、についても考えながらテキストの学修を進めていくと、より理解が深まり、達成目標に到達しやすくなるでしょう。</p>		
一般目標 (GIO)	自らの思考・選択・判断の過程を科学的に説明し伝達する基礎力を養うために、学会発表を題材にしてプレゼンテーションの方法について学ぶ。		
行動目標・ 到達目標 (SBOs)	<ol style="list-style-type: none"> <li>学会発表の心構えや基本事項を説明できる。</li> <li>発表内容、すなわち序論、方法、結果、考察、結論の各パートで、簡潔に何を伝えるべきかについて精査し、プレゼンテーションの設計をすることができる。</li> <li>プレゼン技術のポイントとなる、わかりやすいポスターやスライドを作ることができる。</li> <li>発表本番で、ポスターやスライドを使って研究内容を明確な論理展開で説明することができる。</li> <li>質疑応答の際に、質問者の意図を的確に理解し、簡潔に答えることができる。</li> </ol>		
卒業認定・ 学位授与の方針と 本科目の関連科目	本学科のディプロマポリシーの中でも特に、「自らの思考・選択・判断の過程を説明し伝達するためのプレゼンテーション能力、コミュニケーション能力と、自ら学びを深める自己教育力を持つ」について、本科目の学修を通じて「こころ」「からだ」「文化」の側面から人間を総合的に理解し、教育理念である“自立と共生”や“創造力と人間性”を育みます。		
評価方法・基準	科目修了試験で60点以上を合格とする。		
課題に対するフィード バックの方法	テキスト課題合格時に「解答・解説」を表示		
方略	テキストを熟読して重要ポイントを理解する。その上で学んだ知識をもとに具体的に実践する。		
連絡事項			